

子どもたちがつくる幸せな時間

学校長 堂腰 康博

「先生、ちょっといいですか…。」少し困ったような、それでいてどこか楽しそうな表情を浮かべながら、3年生の女の子が校長室を訪ねてきました。話を聞いてみると、素敵な「ひみつ」を教えてくださいました。もうすぐ担任の先生の誕生日なので、クラスみんなでお祝いのメッセージを書きサプライズでプレゼントしたいというのです。ところが一つ困ったことがありました。「でもさあ、先生ずっと教室にいるから、こっそり書く時間がないんだ…。」先生を喜ばせたい、でも、そのための準備ができない。そんな悩みを打ち明けてくれたのです。

そこで、わたしもほんの少しだけ作戦の仲間に入れてもらうことにしました。「じゃあ、校長先生が仕事の相談があると言って職員室に呼ぶよ。でも、15分だけね。その間に仕上げられるかな？」すると彼女は笑顔でうなずきました。

そして作戦決行の日。「ちょっと仕事のことで…。」予定どおり担任を職員室へ呼び出しました。その間、およそ15分。教室では、それぞれの役割を果たしながら、驚くほどの集中力で作業を進めたそうです。そして見事、気づかれることなく、素敵なメッセージカードが完成しました。

迎えた誕生日の朝。子どもたちから贈られたメッセージカードを手にした担任は、満面の笑顔です。教室は朝から何とも言えない温かな空気に包まれていました。その様子を廊下から見てみると相談に来てくれた彼女と目が合いました。言葉はありません。でもその目が「校長先生、大成功！」と語っているのです。しばらくすると、彼女は、ノールックで、「先生、ありがとう」とひと言。いえいえ。幸せのおすそ分けをもらったのは、わたしの方です。(涙)

「先生を喜ばせたい」一人の子の思いに、「やろう、やろう」と仲間が集まる。みんなで知恵を出し合い、それぞれができることを引き受け、一つのものをつくり上げる。そして、大好きな先生が笑顔になった瞬間をみんなで分かち合う。そこには、子どもたち自身がつくり出した温かな時間がありました。こうした出来事を一つ一つ積み重ねながら、子どもたちはきっと「自分たちのクラスはいいクラスだ」を実感していくのでしょう。教室は最初から「安心できる場所」として完成しているわけではありません。「この仲間となら、できそう。」そんな思いを重ねながら、誰かを思い、認め合い、笑顔を分かち合うプロセスを経て、教室を自分らしくいられる「居場所」へと成長させていくのだと思います。

こうした素晴らしい子どもたちのドラマが生まれ続ける東本郷小学校は、これからも幸せな学びの場であり続けると信じています。

創立50周年記念「ヒガホン大運動会」が10月24日(土)に開催されます。子どもたちは今、仲間と支え合いながら準備や練習に取り組んでいます。

当日は、一人ひとりが自分らしく輝く姿が見られることと思います。地域・保護者の皆様にも、そんな東本郷小学校の子どもたちの姿をぜひ見ていただきたいと、今から楽しみにしています。

